

第4分科会（健康教育）

「児童生徒の望ましい生活習慣の実践を目指して」

～健康的な ICT 機器の使用に向けた学校保健活動の取組～

提案者 栃教協教研推進委員会 養護教諭部

宇都宮市立明保小学校養護教諭 鈴木 早苗

宇都宮市立若松原中学校養護教諭 福田 瞳

1 はじめに

GIGAスクール構想により、一人一台のタブレット端末の活用が始まり、ICT機器に触れる機会がますます増大している。活用が進む一方、子供の健康への影響も懸念されている。文部科学省が平成23～25年度に実施した「学びのイノベーション事業」においても、授業におけるICT機器活用による児童生徒の健康面への影響等について指摘されている。

私たちも、普段保健室で子供たちと接する中で、養護教諭としてICT機器使用における健康への影響について指導の必要性を感じているが、参考となる資料や過去の実践例が少なく、なかなか取り組むことができていないのが現状であった。

そこで、私たちは児童生徒が健康に配慮したICT機器との関わり方を身につけ、望ましい生活習慣の実践ができるようにすることを目指して3年目を迎えた。3年計画で研究主題を設定し、文部科学省の示した「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック」をもとに、取組を進めてきた。

2 提案内容

(1) 実態の把握・分析

- ① ICT機器の使用状況と心身の健康に関するアンケート作成・実施（児童生徒対象）
- ② ICT機器活用のためのチェックリスト作成・実施（教職員対象）

(2) 教職員への研修・情報提供

- ① 「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック（文部科学省）」を基にした現職教育の実施
- ② 担任等への保健指導資料提供
 - ・ 日本眼科医会の「ギガっこデジたん」
 - ・ 児童生徒のアンケート結果

(3) 保健指導資料の検討・作成

- ・ 保健だよりのコラム集の作成

(4) 各校での保健教育の実践

- ① 保健だよりの作成・・・コラム集やアンケート結果の活用
- ② 保健指導・・・けんこうチェックカードの実施、姿勢チャンピオン、姿勢ペンダント
- ③ 児童生徒委員会活動・・・Kahoot!（カフート）、鏡文字ポスター

④ 掲示物作成

- ・見て、触って、体験する掲示物
- ・デジタルサイネージの活用した掲示物
- ・ナッジ理論を用いた掲示物

⑤ 学校保健委員会

- ・学校保健委員会・・・ICT機器と健康をテーマに実施
- ・地域学校保健委員会・・・姿勢をテーマに実施、体づくりの専門家による講話

⑥ 小中一貫教育

- ・中学校区での実態把握・分析
- ・地域学校園ほけんだよりの作成

⑦ 家庭・地域との連携

- ・ホームページ等を活用した啓発

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ① 課題の明確化とタイムリーな取組
- ② 教職員の意識の向上
- ③ 指導教材の充実
- ④ 児童生徒の実践力の向上
- ⑤ 小中・地域との連携
- ⑥ 家庭への情報発信

(2) 課題

- ① 教職員との協力体制
- ② 健康に配慮した使用の習慣化
- ③ さらなる小中連携や家庭、地域との連携
- ④ 発達段階に応じた指導の実施

